

本校生徒部では、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどによるトラブルを未然に防ぐ一助とするために「いわみの特別号」を発行し情報提供をしています。バックナンバーは益田高校のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

学校ネットパトロール事業の報告

益田高校の6月～7月の状況は下の通りです。内容としては9件とも個人情報の流出です。学級や部活動等、学校内外の様子がわかる内容であったり、個人が特定できる内容であったりしています。「リスクレベル中」については検知報告後すぐに指導を行いました。また、「リスクレベル低」については必要があれば指導をすることにしています。

	検知数	内 訳	
H26.6～7月分	9件	リスクレベル中：1件	リスクレベル低：8件
リスクレベルの分類			
*リスクレベル中……緊急性はないものの、早期の指導・対応などが望ましいもの。			
*リスクレベル低……緊急性はないが、必要に応じて適切な指導・対応などが望ましいもの。			

個人情報を書き込むことの危険性①

益高生のみなさんには、個人情報を書き込むことの危険性について考えてほしいと思っています。最近の企業は採用に応募してきた学生についてネットで検索しています。学校名や氏名の書き込みがあるだけで「倫理観がない」「情報管理ができていない」と判断され、採用されなかった人もいます。個人情報を書き込むことはマナー違反なのです。

ネットを検索してみると、仕事上の理由などで氏名や写真、プロフィールなどを公開している人はたくさんいます。しかし、益高生のみなさんはどうなのでしょう？今、本当にネットで個人情報を公開する必要があるのでしょうか？賢明な判断を期待します。

個人情報を書き込むことの危険性②

「あの時、あんなことを言わなきゃよかったなあ」などと思った経験はありませんか？不適切発言もインターネット上では文字として残ってしまいます。

このことについて、島根県教育委員会からのメールマガジンの記事を紹介します。

◎個人情報を書き込むことの危険性

不適切な発言をしてしまった際、発言内容と一緒に個人情報まで広められてしまう可能性があります。もちろん、そのような不適切な発言はしないことが一番ですが、何気ない一言が誰かを怒らせてしまったり、傷付けてしまったりすることもあります。自分は正しく使っているつもりでも、安全であるとは言いきれません。

個人情報の掲載は、誰かを傷付けるような類のものではないので、つい詳細に書き込んでしまう子どもも多いかと思います。個人情報を掲載することの危険性について、考えてみてはいかがでしょうか。

アカウントの乗っ取り

ここ数か月ほど、ニュース番組等で、SNS や無料通話アプリでのアカウントの乗っ取りが話題となっています。

このことについて、島根県教育委員会からのメールマガジンの記事を紹介します。

アカウントとは、コンピュータやインターネット上のサービスなどを利用するための権利のことです。アカウントを作成する際にメールアドレスやパスワード等個人情報の登録が必要となります。

そこで今回は、アカウントの乗っ取りについて、お話ししたいと思います。

Twitterの乗っ取り

最近では、Twitterアカウントの乗っ取り方法も流行っているようです。Twitterでは、スパムツイートと呼ばれる、迷惑メールのようなメッセージが送られてくることがあります。このようなツイートは、「芸能人の●●が電撃結婚！」や「人気番組の■■で放送事故」など、多くの人が興味を持ちそうな内容のメッセージとURLで構成されているケースが多いのですが、このURLをクリックすると、アプリの認証画面に切り替わり、Twitterのパスワード入力を求められます。ここでパスワードを入力してしまうと、Twitterのアカウントが乗っ取られてしまいます。そして、今度は、自分のアカウントから、スパムツイートを発信するようになってしまうのです。

パスワード管理の基本

このような被害から身を守るためには、パスワードの取り扱いについて、正しい知識をもつことが重要です。

- ・パスワードは他の人に教えない
- ・確認画面や認証画面では、むやみに承認しない（よく分からない時は、そこから先に進まない）
- ・サービスごとに、違うパスワードを使用する（同じものを使い回さない）
- ・分からないことがあったら、身近な大人に相談する

これらのことを理解させるとともに、悪意をもった人物に、自分のアカウントが狙われるかもしれないという危機感をもたせることが大切です。